

教育フォーラム「不登校を考える」

不登校・ひきこもりと地域に求められるもの

～子どもと歩む保護者たちの思いに寄り添って～

【日時】2019年1月26日(土)午後2時～4時30分

【会場】ひかりプラザ (203・204号室)

【講師】広木 克行さん (神戸大学名誉教授)

【参加者】73名

(前回のつづき)よく親たちの口から聞くのは起立性調節障害などという言葉や自律神経失調症という言葉あるいは睡眠障害という言葉です。それは子どもが悩み切った末の結果そういう状態になっているのであって、それがあから学校にいけないというのとはわけが違います。子どもたちが感じている疑問や悩みはそういう〇〇障害と名付けられるものがあるから起こるというのではなくて、子どもたちはある意味で極めて健康な気持ちであるゆえに、現実のなかで感じる不安や悩みがそういう症状となって表れるのではないかと私は思います。そのことをぜひ知っていただきたいと思います。

浜田壽美男先生の書いた『子ども学序説』の中に登場する不登校の子どもの声なのですが、中学生がこんなことを書いています。

「あの時の私の生きていく場所は学校で、学校という狭い窮屈な世界が全てだった。その狭い、せまい世界の中で他人の目、価値観によって自分にはられるレッテル、それが私の価値すべてだと思

い込んでいた。だから苦しかった。そればかりを気にして自分で自分の首を締めていく様なものだった。楽に息がしたくて、酸素が欲しくてたまらなかった。そして私は “私” という人間をなくした。(中略)

学校で教えられたことは学校でしか成り立たず、しかし私はそんな事、気付きもしなかった。今、私はあんな風にしか生きられなかった “あの頃の私” を、とても可哀想に思う。他人の目、価値観によってはられるレッテル。それがどれだけくだらないものなのか。登校拒否をして、私はやっとそれが分かり始めたのだ。」

中学生でこういうことを書くのですよ。その言葉がどれほど適切であるかどうかは別にしてここに込められた心は子どもたちのホントの苦しみ、学校では酸素が吸えないっていうのですもの。やはり自分が学びたいものはそれとは違う。でもこういう人間を社会性のない〇〇障害とか〇〇症候群とかいうふうにな付けてしまう。それで分かったつもりになっているケースが少なくないのです。

保育園や小学校に通う子どもの場合にもこんなケースがあります。

一人のお母さんが小学校一年生のお兄ちゃんのことと相談に来てくれました。お兄ちゃんの登校渋りを心配して学校に相談に行ったら、先生からまず病院に行って診てもらってくださいと言われ、その診断結果を持って市の教育研究所に相談に行ってください、とも言われたそうです。子どもを直接聞こうともしないその先生は登校渋りという状態を頭から症状と考えているのではないかと思われます。

先生のその対応が納得できずお母さんがひとりで悩んでいるとやがて4歳の妹さんも保育園に

行きたくない、お兄ちゃんみたいに休みたいと言
い出したそうです。そこでお兄ちゃんのことと相
談を勧められた教育研究所に妹を連れて行って
話しをしてみたのですが、相談員の先生は母親の
話しを聞きその子の様子を見て、「こう言ったそう
です。」「この子HSCですね」と。HSCというの
はハイ・センシティブ・チルドレン、要するに非
常に敏感な子だということです。「敏感な子です
ではなく、「HSCですね」といわれると何か障が
いじゃないかと思うわけです。そして相談員は
児童精神科がある病院に電話して、すぐ行って
くださいと言われたのだそうです。学校でも教育研
究所でも病院へと言われたのでそのお母さんが
病院に行ってみると、医者もまたこの子はHSC
ですからと言って薬を出されたのだそうです。敏
感さを少し緩める薬のようですがそれを飲むと
もっとゆったりと生活ができるというところし
いのです。

このケースにも見られるように子どもに何か問
題を見つけると、その原因を子どもに求め子ども
を変えるように働き掛けようとする傾向が最近
再び顕著になっているようです。HSCという新
しい診断名もそのような意識の中で使われた可
能性があると思われました。

(次回につづく)

今回の定例会は10月25日です。定例会は第四土曜日
2時から4時。会場はひかりプラザの予定です。地域を問
わずどなたでもご参加ください。参加無料、予約も連絡も
不要です。

さくら草の会のお知らせ 7、8、9月の定例
会は、空調故障でひかりプラザが使えなくなり、
7、8、9月は会場を変更しました。今後も変更
する可能性もありますので、会場についてはお問
合せ下さい。

カット（藪ラン）



国分寺市不登校を考える親の会（さくら草の会）

通信247号 2025 9月27発行

事務局 石井ひろ子 042-502-7558（留守電にメッセ
ージを入れてください。おりかえします。）さくら草の
会のホームページもご覧ください。

<http://inomck.wixsite.com/sakurasounokai>